

ひなたぼっ通信

2015年
5月号

一周年記念式典を盛大に ケアハウス

4月2日、ケアハウスの一周年記念式典が入居者様ほぼ全員のご参加により、開催されました。多くの皆様方のお陰をもちまして、無事一周年を迎えられたことを感謝申し上げます。森理事長の挨拶に続き、ミスターXのマジックショーでは皆さんの目が手元に釘付け。「うまいねえ」「本物みたいだ」「黄色いハンカチ」では、「これが一番うまいな」「もう一度」とお褒めの言葉が飛び交いました。軽快な話術でも盛り上がり、皆さん大笑い。



魚国総本部さんによるマグロの解体ショーも行われ、大きなマグロが、目の前で鮮やかな手さばきで切り分けられていく様子を、皆さん食い入る様に見つめていました。頭かまと共に大きな半身のブロック肉を全席に見せて回って下さると「わあすごい！」「初めてだよ、こんな

の見るの」「早く食べたいねえ。」昼食には早速、美味しい春のお弁当とともにマグロのお刺身が用意され、皆さん舌鼓を打たれていました。



宅老所にも花が

三日寒くて四日暖かい、それを繰り返して暖かくなる。まさに三寒四温ですね。少しずつ春の便りが聞かれる今日この頃、宅老所にも利用者様手作りの花が咲きました。菜の花のおぼろ月夜は貼り絵で製作し、月にかかる雲は毛糸を使い作りました。

さくらの吊るし飾りは一枚一枚折り紙で作られ、様々な色や形の折り紙を張り合わせ作成しました。一つとして同じものがない、世界に一つだけの花です。この吊るし飾りは利用者様にプレゼントする予定ですが、しばらく宅幼に飾らせていただきます。これからますます暖かく、花の咲く時期になります。お散歩やお花見が楽しみです。



おやつは手作りです グループホーム

1・2階合同のレクリエーションを行いました。ご利用者さん達が風船バレーに熱中している傍らで、おやつも皆さんで



同じものを！と職員が長芋入りのお好み焼きを作りました。

「お味はいかがですか？」「美味しいよ」「長芋の食感がわかったよ」と言ってお下さり、レクもおやつもいつもよりおおいで、賑やかに楽しんでいただきました。

お花見&外食ツアー 花も団子も！

ケアハウスの入居者様は、4月20日より数日に分けて「お花見&外食ツアー」にお出かけしました。希望日によってお花見する場所もお昼を召し上がる場所も様々でしたが、日頃は外に出る機会が少ない方々です。このツアーをぜひぶん前から心待ちにされていたようでした。初日はあいにくの小雨模様で、車窓からのお花見となってしまうましたが、数日後の組はうらかな春の日差しに恵まれ、満開の桜をあちこち見て回り、心和むひと時を過ごしていただきました。「日本人に生まれて本当に良かった」まさにそんな気持ちになる素晴らしい春の味わっていただいた後は、待ちに待った昼食です。ご自分のお好きな食事を注文され、いつにない食欲で職員を

驚かせた方もいたほど・・・。短い時間ではありましたが、施設内では味わうことのできない風と光を肌で感じ、お仲間と楽しい時間を満喫された一日でした。

入居者様の作品をご紹介します

○白寿卒寿それぞれ歩み来し顔よ

匠の彫りし翁と媪
おきな おうな

○山里のホームならでは味わえぬ

月雪花のうつりゆく様

○田起しや土黒々の香おり来て

今年も恵み豊かにぞあれ

○今宵また月の満ち欠け楽しみに

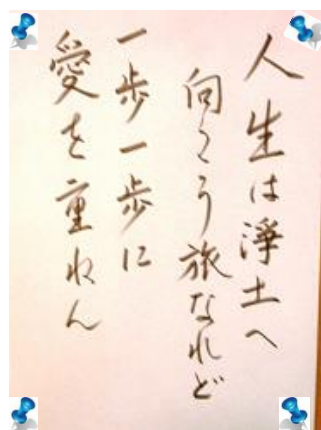
カーテンそっと引きて眺むる

○無聊ぶりようをば託かこっておれば窓外に

早木蓮の咲き乱れおり

○菜種梅雨ようよう晴れてそろそろと

友達れ立ちて老いの散歩路



『私の介護への思い』というテーマで法人内の研修会が開かれ、そこで発表された意見を掲載致します。紙面の都合により、原文よりの抜粋となりますのでご了承ください。

「人が好き 誰かの役に立ちたい」

(略) 特別養護老人ホームから介護の道に入りました・・・出だしは介護って何? 何もかも初めての経験でした。入浴介助、食事介助、排泄介助などその時は辛いことがたくさんありすぎ、時間時間に追われて業務をこなしていたくらいで、楽しみななんか一つもありませんでした・・・認知症の入居者にある日突然「Kさん」って呼ばれた嬉しさ。良いことばかりではなく、顔を殴られたこともありました・・・その中で初めての看取り、もちろん他人でしたが号泣しました。きつと後悔があつたのだと思います。この人にまだ何かできたのではないかという思いが強かったです・・・忙しい中にも何かできることを探して動き回っていた特養での4年間でした。

・・・訪問介護ステーションではいきなり施設から訪問への戸惑いは半端なかつたです・・・在宅は対一が主でいい評価をいただくこともあれば、来なくていいときっぱり言われる仕事です・・・ひとつひとつのサービスで幸せになって欲しい思いが強く、やりがいを感じました。もっともっと成長しなければとがむしやりに働いていました・・・

3年間入浴していない男性の入浴に取り組み6ヶ月後に入浴できた事は今も記憶にあります。その後、病院の療養病棟に勤務。医療と介護の狭間で介護職として何ができるのかを自分なりに考える期間でした・・・デイケアでは在宅の生活・支える家族・ケアマネとの連携の大切さと必要性を勉強しました・・・誰でも平等に介護を受けられるよう平和でなければいけないと飯田から長野まで自転車での平和を訴え横断しました。時には介護報酬改悪の運動に参加、街頭署名などの運動、集会などに介護ウェーブの先頭になって取り組みました・・・本当にこれで良かったのかなって思い出すケアは沢山あります。反省する日々です。今まで続けられているのは、人が好きなことと誰かの役に立ちたいと日々思っているからです。介護って奥が深く、これでもうまくいったと納得した答えが見つからない仕事だと思えます。だから、人として成長できる仕事だと思えます。息子と娘に「とと」は福祉の仕事で頑張っていると胸を張って言えるよう、日々心がけて頑張っていきます。

(ケアハウス K)

発行 社会福祉法人ひなたほっこ

〒399-0211

富士見町富士見11650-1

TEL 0266-61-2335

FAX 0266-61-2336